

5月28日アナリスト向け決算説明会質疑応答(2015年3月期決算)

- Q. 研究開発費が中計時：208億円から16.3期予想：166億円と減額されている。理由は何か？
- A. 開発費用の見直しと進捗遅れによるものであり、中止した案件はない。
- Q. HDD サスペンションのシェアが下がっているが、理由は何か？
- A. 低付加価値機種の一部でシェアの移動があった。
高付加価値機種で同様のことがないように対応していく。15年度はシェアを上げて行くつもりである。
- Q. 北米の懸架ばね・シートの足元の状況を教えてもらいたい。
- A. 昨年度は一時費用が発生したが、現在は収束している。新たには発生していない。
足元の北米の状況は、昨年の繁忙時に達成できなかった原価の合理化の遅れを引きずっており、原点に戻して収益を上げることが今期の大きな課題である。
- Q. アジアの為替や台数からみると16.3期の計画は硬めな印象があるが、上ブレの余地はあるのか？
- A. 硬めにしてはいない。頑張りすぎた内容にもしていない。
- Q. 設備投資について、15.3期は中計：254億円に対して実績：206億円、16.3期は中計：273億円に対して計画：295億円となっている。
この差異は期ズレか？中止した案件があるのか？
- A. 15.3期の実績は検収ベースの金額であり、16.3期の計画は着工ベースとなっている。
15.3期の下期に着工したものは16.3期にズレ込んでいる。中計に対しては進捗が遅れが出ている案件はあるが、大きな案件で中止したものはない。
設備投資額の表記については、従来は連結会社のみであったため新規の大きい案件が反映されていなかった。今回の資料から海外の新規拠点などの大きな案件を非連結の欄を設けて開示をした。連結と非連結の合計がグループ全体となっている。

以上